

第340回  
株式会社テレビ新潟放送網  
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成29年7月24日(月)午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員 7人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
山本 健一	委員	中島慎一郎	委員
原田 健一	委員	田村 明子	委員
柳川かおり	委員		

会社側出席者

取締役会長	室川 治久
代表取締役社長	務台 昭彦
常務取締役 編成担当	竹石 尚史
取締役報道制作局長	永田 広道
編成局長兼番組審議会事務局長	増子 隆
報道制作局制作部長	羽田 朗
報道制作局 合評番組プロデューサー	鈴木 英門
事務局	山崎 学 吉田 康宏

## 4 議 題

### 1) 番組合評

「夕方ワイド新潟一番 ガタトピSPECIAL

夢へのターン ボートレーサー島倉都の挑戦」

[放送：平成 29 年 6 月 18 日（日）16:55-17:25]

(説明：番組プロデューサー 鈴木 英門)

### 2) 会社報告

① 6 月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

② 講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

### 3) その他

## 5 審議の概要

会社側からは毎週月曜から金曜の夕方に生放送している「夕方ワイド新潟一番」ガタトピのコーナー企画として、県内では初めての女性ボートレーサー島倉都さんを追いかけて、彼女の高校卒業からボートレース養成学校入学、そして卒業、プロデビューを 3 回取り上げた。彼女の持っている魅力やボートレースへの情熱、家族の応援などを普段「夕方ワイド新潟一番」を見ることのできない方々にも見て頂きたいというコンセプトで制作した、という説明があった。

(委員の意見)

- 夕方の番組のコーナーを 1 回見ているので、続きを見たいと思っていたので、特番を制作してもらえてよかった。
- 大変感動した。若い世代の活躍は見ていて清々しく感じ、見てよかったと思う番組だった。

- ボートレースになじみがなかったが、どのような世界なのかという面白さや若い島倉さんが大人に成長したのだなということが番組を通して見る事が出来た。
- なぜ、ボートレースという厳しい世界へ入ったのかという部分が希薄であった。またプロになる道がどのような流れなのか、ボートレースの世界が分かる説明があると良かった。
- 構成としては一般的な作りであったが、内容が濃く、丁寧に取材していると感じた。取材相手と信頼関係を持っているからこそそのシーンがあり、情を入れながら見ている。
- ボートレースそのものの迫力や、彼女が目標とするレーサーなどの取材もあると、更にボートレースへの興味も増して深みが出たのではないかな。
- 取材に深みがないからか、インタビューの受け答えが優等生過ぎている感じがした。
- たかがプロデビューする1年だけを追いかけて番組にするのは理解できない。
- 娘をボートレーサーにするという決断をした親の気持ちはどのようなものだったのか、応援する姿だけでなく取材してもらいたかった。
- あっという間の30分で、今後の続きを見たくなった。
- 訓練の厳しさはプロとしてでもあるが、死のリスクもあるのだということを伝えるには必要であり、よく描かれていた。
- 見ていて清々しい気持ちになった番組であったが、30分では短かったのではないかな。

## 6 会社側の報告

### 1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

6月 …… 123件

### 2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成29年6月26日)から、昨日(平成29年7月23日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

## 7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

### 1) 前回第339回審議会では、「新潟一番サンデープラス」を審議いただきました。

委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

### 2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

## 8 今回の第340回放送番組審議会の公表

### 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

### 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

### 3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

## 9 参考事項(委員への配布資料)

- ・6月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・民間放送新聞(6/23、7/3、7/13号)

以上